

## 日 本 豚 病 研 究 会

1 研究会名：日本豚病研究会  
(Japan Pig Veterinary Society)

2 事務局所在地：  
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5  
動物衛生研究所内  
TEL・FAX 029-838-7745  
E-mail tonbyou@ml.affrc.go.jp  
URL http://tonbyo.ac.affrc.go.jp/

3 目的：  
日本豚病研究会は、会員相互の協力により豚病の診断・予防に関する技術の向上と開発、及びその防除体制の進歩に資することを目的とし、これを達成するために豚病に関する問題点の検討、豚病の診断・予防技術の普及、研究集会の開催、会報の発行、その他本会の目的達成に必要な事業を行う。

4 組織：  
会 長：津田知幸（動物衛生研究所所長）  
副 会 長： 2名  
幹 事： 33名  
会計監事： 2名  
会 員 数：約950名（平成26年5月現在）  
賛助会員：16所社

5 沿革：  
本会は、昭和42年、農林省家畜衛生試験場（現 動物衛生研究所）研究員により発足した「豚病問題懇談会」を前身とし、昭和57年に研究会として発足した。会の設立に尽力した藤崎優次郎初代会長は設立の考え方について「最近の豚病の動向から、その解決にあたっては、学際的な観点から疾病を考える必要があるので、その取

り組みについて、あるいは新しい技術の研究手法への積極的導入方法についての話題などを取り上げていくようにしては…」と、同年発行された「豚病研究会会報 第1号」に記している。以来30年以上にわたり豚病研究に携わる方々の最新の診断技術、予防技術の向上と情報収集を目的とし、「現場重視」の姿勢で活動してきた。平成4年には「日本豚病研究会藤崎優次郎賞」が創設され、疾病予防事業、家畜衛生技術と衛生思想の普及、家畜衛生技術の開発等を通じ、養豚産業の発展に顕著な業績をあげた者を表彰しており、これまで19回、のべ25名が受賞している。

6 活動内容と特色：  
会員は、都道府県獣医師、開業獣医師、企業関係者、大学教員等である。主な活動として、年2回（春、秋）の研究集会開催、年2回（8月、2月）の会報（日本豚病研究会報：Proceedings of Japan Pig Veterinary Society）発行を行っている。研究集会ではその時点で問題となっている疾病や話題についてテーマを決めて取り上げているが、その内容については会員の意見を取り入れ、幹事会で随時決定している。会報には、研究集会での発表内容を論文化した原稿を審査の上、原著論文として掲載しているが、その他（豚の疾病、獣医療、生産管理などに関する内容を扱った総説、原著論文、資料、トピック）の投稿も受け付けている。

7 入会の方法など：  
○入会方法：  
下記（\*印のある項目は必須）を明記し、メールまたは郵送で提出されたい。  
入会申込年月日、氏名（漢字、ふりがな）\*、自宅住所、勤務先名称、勤務先住所、勤務先電話番号、勤務先FAX番号、E-mailアドレス、会報送付先（自宅または勤務先）\*。

- 年会費：  
一般会員：1,500円  
賛助会員：一口20,000円
- 研究集会参加費：  
会 員：無料  
非 会 員：1,500円



文部科学省研究交流センター（つくば市）で開催された第80回日本豚病研究会研究集会

8 文責者：佐藤真澄（総務担当幹事）